

壁へと走る滑車

長田友大

警笛鳴り響く 掻き鳴らされる 排気音漂う

数名やってきて 紙切れ指差し

これが こうして こうなのです

存在しようが知るまいが行き着くところは皆同じ

それが回ってきた

押し込み詰め込み出発進行

腹ごしらえしっかりすべきだったな

グレープフルーツほのかに浮遊する

もうこの景色も見ないかも 終わるまでそこかも

太陽がうごめいてるな 雲絶え間なく流れ

ビル群ざわめきのなか落涙す

これから形式ばったおしゃべりの日々

絶え間なき笑み